

286号　発行所 / 下関市長府外浦町1番1号　国立病院機構 関門医療センター　発行責任者 / 病院長 吉野　茂文　印 刷 / ㈱アートネクスト

令和8年熊本地震 DMAT派遣活動報告

令和8年7月28日、熊本県を震源とするマグニチュード7.1の巨大地震が発生しました。

私たちは山口県からの派遣要請を受け、被災地である熊本県八代市へDMAT（災害派遣医療チーム）として出動。医師1名（山本）、看護師2名（山口・田尻）、業務調整員（石田・下谷）によるチームで、8月2日から5日まで「熊本総合病院」にて医療支援を行いました。同院は、震災時に激しく揺れた手術室内の映像が公開されたことでも知られる、地域の中核病院でした。


残るDMATメンバーに見送られ出発

現地に到着して目にしたのは、自身も被災者であるにもかかわらず、不眠不休で患者さんを支え続ける現地医療スタッフの姿でした。

私たちの最初の任務は、極度の疲弊状態にあるスタッフの負担を少しでも軽減することです。西日本各地から参集した他の5チームと協同し、すぐに救急外来へ入って日勤・夜勤を問わず、次々と運ばれてくる救急患者さんの診察や処置のサポートにあたりました。

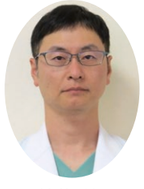
さらに、現地ではより深刻な問題が発生していました。地震による配管破損の影響で、病院の透析機能が停止していたのです。透析治療は患者さんの命に直結します。そこで私たちは、受け入れが可能となった熊本市内の施設で治療を受けられるよう、患者さんを集団でバス搬送する任務にも就きました。八代―熊本間は道路の寸断や渋滞などもあり、搬送は連日、早朝から深夜に及ぶ過酷なミッションとなりました。しかし、無事に透析治療を終えて安心された表情の患者さんを拝見し、少しはお役に立てたのではないかと私たちも安堵することができました。活動期間の終盤には透析機能も復旧し、スタッフや患者さんがともに喜ばれている姿に接し、日常の医療がいかに貴重で大切であるかを強く実感いたしました。


仮設の黄色エリア（中等症患者さんの治療を行う所）の様子


病院スタッフ・DMATの定時ミーティング

今回の派遣を通じて、災害時におけるインフラ断絶の恐ろしさや医療機関同士の広域連携、そして何より「人を救いたい」と願う多職種連携の重要性を肌で感じました。被災地で得た貴重な経験と教訓を院内に還元し、当センターの災害医療体制のさらなる強化に努めてまいります。

最後になりますが、私たちの急な派遣を快く送り出してくれた家族、不在の間の院内業務を力強く支えてくださった職員の皆様、そして温かいエールをくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。


外科医師
DMAT隊員
山本（やまもと）　常則（つねのり）

外来診療担当医一覧表

2026年10月1日現在

診療科名	時間帯		月	火	水	木	金
消化器内科	午前	(新来)	戒能聖治	坂口栄樹	小川　亮	千原大典	山﨑綾乃
		(再来)	千原大典	戒能聖治	戒能聖治	坂口栄樹	小川　亮
肝臓内科	午前			坂口栄樹		坂口栄樹	
循環器内科	午前	(新来)	八尋星良	早野智子	早野智子	竹中　仁	竹中　仁
		(再来)	原田耕志※	大谷　望	大谷　望	八尋星良	早野智子
糖尿病・血液内科	午前		鶴　政俊	周山拓也※ 鶴　政俊	松井久未子 伊藤　渉	鶴　政俊	松井久未子 伊藤　渉
脳神経内科 (午後外来は予約制)	午前	(予約新患)	廣重美和※ 城野喬史※	冨田周作	田中信一郎 藤澤美和子	尾本雅俊※	田中信一郎
		(再来)	田中信一郎	藤澤美和子	田中信一郎	尾本雅俊※	冨田周作
	午後	(再来)			冨田周作	田中信一郎 藤澤美和子	
呼吸器内科	午前		顕原　隆※				顕原　隆※
	午後			森本俊規※		神田英樹※	鳥井　亮※
小児科	午前		佐々木聡子	牧　隆司	佐々木聡子	牧　隆司	牧　隆司
	午後		佐々木聡子	牧　隆司	佐々木聡子	牧　隆司	牧　隆司
精神科(予約制)	午前		若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介	若林祐介
心理カウンセリング(予約制)			黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香	黒木浩子 佐村さや香
女性総合診療(予約制)	午後		早野智子				
生活習慣病センター	午前		大谷　望	松本裕美	松本裕美	松本裕美	藤田文彦
外科	午前	(新来)	吉野茂文	山本常則	坂本和彦	吉野茂文	吉田　晋
		(再来)	坂本和彦 小畑裕一	梅野紘希	吉田　晋	山本常則	林　弘人 梅野紘希
乳腺外科	午前		長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子	長島由紀子
心臓血管外科	午前				村上雅憲		村上雅憲
足の疾患センター(予約制)	午後				村上雅憲		
整形外科	午前		伊原公一郎 篠原道雄 大角隆次郎	峯　孝友 坪根　徹 山﨑和大	栗山龍太郎 篠原道雄	伊原公一郎 坪根　徹 大角隆次郎	峯　孝友 栗山龍太郎 山﨑和大
リウマチ科	午前			峯　孝友			峯　孝友
泌尿器科	午前	(新来)	鄭　泰秀	志茂麗子	鄭　泰秀	鄭　泰秀	志茂麗子
		(再来)	志茂麗子 (10時から)	鄭　泰秀 (10時から)	志茂麗子 (10時から)	志茂麗子 (10時から)	鄭　泰秀 (10時から)
			(受付時間11時まで)				
脳神経外科	午前		副島慶輝	山下勝弘		山下勝弘 岡﨑光希	副島慶輝
眼科(予約制)	午前		砂田潤希※ (午後再来のみ)	播磨　希	播磨　希 (再来のみ)	播磨　希	播磨　希
耳鼻いんこう科	午前		菅原一真※ 第1.3.5月曜 (10:30~12:00)				
産婦人科	午前		林　公一	林　公一	齋藤　剛※	林　公一	林　公一
皮膚科(予約制)	午前		下村尚子※				下村尚子※
形成外科	午前			高須啓之※			
歯科口腔外科(予約制)	午前		板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆	板敷康隆
放射線治療科			河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏	河村光俊 中部千夏
麻酔科			藤田文彦 内本亮吾※	藤田文彦 北　仁志	藤田文彦 飯尾知明	藤田文彦 福井健彦	藤田文彦 白源浩子
救命救急センターER24	24時間		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

特殊外来(要予約)
人工ペースメーカー外来
不妊症外来
難聴・補聴器外来
頭痛外来
スポーツ外来
膝関節外来
健康診断(予約制)
手の外科
足の外科
骨軟部腫瘍
パーキンソン病
セカンドオピニオン外来

※…外部医師

〒752-8510　下関市長府外浦町1番1号
国立病院機構 関門医療センター
診療受付時間：午前8:30~11:30
午後(各診療科外来にお問い合わせください)
※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

★代表　TEL(083)241-1199　FAX(083)241-1301
★地域医療連携室(医療関係者専用)　TEL(083)241-1191(2561)　FAX(083)241-1302
★透析センター　FAX(083)241-1308
https://kanmon.hosp.go.jp/

令和8年度熊本地震における医療班の活動報告

令和8年8月21～25日にかけて、令和8年度熊本地震の被災地へ医療班が派遣されました。医師の鶴副院長を筆頭に、薬剤師1名・事務職1名・看護師2名の5名編成で、現地の避難者の対応に尽力しました。


医療班メンバー


避難所（八代小学校）


八代城の崩れた石垣

医療班の主な活動内容は、八代市役所本部から指定された避難所を巡回し、避難者の健康状態や生活状況等の情報収集を行うとともに、医療処置や診察が必要と考えられる方について、近隣の医療機関への受診を促し、必要に応じて受診につなげることでした。

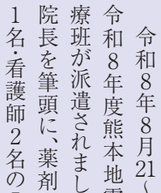
活動時点では、発災から約3週間が経過しており、地域の医療機関も徐々に再開していました。そのため、避難所での医療班による治療や処方は極力行わず、必要な場合には医療機関を紹介し、受診することを基本としました。

活動期間中は、計5か所の避難所を巡回しました。各避難所では避難者への声かけを行い、現在の健康状態や受診状況、生活環境、避難生活に対する思いなど、さまざまなお話を伺いました。避難生活が長期化する中で、身体的な健康状態だけでなく、生活環境や日々の不安などについても把握することの重要性を感じました。

健康面では、血圧が高い方や血栓症のリスクが高い方も数名おられました。これらの方には、食事内容や水分摂取等についての助言を行うとともに、必要に応じて医療機関を受診するよう促しました。

また、避難所ごとに生活環境や食事内容、水分摂取の状況などに違いがあり、それぞれの環境に応じた健康管理が必要であると感じました。特に、非常食の内容による塩分摂取量の増加や、暑い時期の脱水予防については、避難生活が長期化する際の重要な課題であると考えます。

今回の活動を通して、発災直後だけでなく、医療機関が再開し始めた発災後数週間の時期においても、避難者の健康状態や生活環境を継続的に把握し、必要な方を適切な医療につなげる支援の重要性を学びました。今回の経験を今後の災害時医療活動に活かしていきたいと思います。


薬剤師
綾田（あやた）　翔（しょう）

今回、熊本地震災害支援で医療班として活動しました。コミュニティーセンターや小学校の体育館などの避難所を巡回し、体調不良者や継続して経過観察が必要な方への対応や救急搬送が必要かの判断を行いました。また、食料や飲料水、衛生用品などの物資の内容を確認し、栄養面を含めた避難生活上の課題についても確認しました。さらに避難所の温度・湿度、換気、トイレなどの環境を確認し、少しでも安心して過ごせるよう改善点を関係者と共有しました。

今回の活動を通して、避難生活における健康管理の重要性を改めて感じました。1日も早く日常を取り戻し、地域の復興が進み安心して生活できることを心より願っています。


7B病棟看護師
三浦（みうら）　征詩（まさし）

部署紹介　訪問看護




ビーンズ訪問看護ステーション
管理責任者
岡田（おかだ）　寛子（ひろこ）

マメな心くばりの
ビーンズ訪問看護ステーション

ビーンズ訪問看護ステーションでは、住み慣れた地域で安心して療養生活を続けられるよう、利用者さん1人ひとりに寄り添った看護を提供しています。健康状態の観察や医療処置、服薬管理、終末期ケアなどを行い、医師や医療相談員、ケアマネージャーなどと連携しながら、病院から在宅・施設へ、施設から在宅へと療養の場が変わっても、必要な看護が途切れることのないように支援を行っています。これからも地域に信頼される訪問看護ステーションを目指し、マメな心くばりで温かく「どこにいても安心できる看護」をお届けします。

地域医療研修　よしみず病院での研修を終えて

今回、私は特定医療法人茜会の運営する下関市の吉水内科・脳神経筋センターよしみず病院にて地域医療研修を行いました。

吉水内科の訪問診療・介護・リハビリから始まり、茜会の関連施設であるデイサービスやグループホーム、児童発達支援事業所等、多数見学する機会をいただきました。

今までは急性期病院での治療を経験する研修医生活でしたが、よしみず病院や訪問診療を通してより包括的な医療を経験させていただき、患者さん1人1人に合わせて沢山のコミュニケーションを取りながら多職種連携の上で医療・介護が成り立っていることを実感することができました。他職種の方々とお話しする中で、医師は専門性を活かした治療をするだけでなく、転院／退院先との重要な橋渡し役も求められており、患者さん・患者さんを支える方々とのコミュニケーションが非常に大切であることを学びました。

患者さん・医療従事者の皆様に信頼される医師を目指して、人との関わりを大切にしながら常に感謝の気持ちを忘れずに、残り約半年の研修生活を精進して参りたいと思います。






研修医
荒井（あらい）　大輝（たいき）

下関市立大学看護学部の実習受け入れを開始して

今年度より、関門医療センターでは下関市立大学看護学部の看護学生の実習受け入れを開始しました。

実習初日、学生さんたちは初めて患者さんと関わることへの緊張した様子が見られました。しかし、患者さんとのコミュニケーションや看護実践を重ねる中で徐々に表情も和らぎ、実習終了時には「患者さんと話をして、とてもびになった」と笑顔で振り返る姿が印象的でした。教科書だけでは学ぶことのできない患者さん一人ひとりとの出会いを通して、看護のやりがいや責任の重さを実感する貴重な経験になったことと思います。

未来の看護を担う学生の皆さんが成長していく姿を見ることは、実習指導に携わる看護師をはじめ、関門医療センターの職員にとって大きな喜びです。また、学生の指導に携わることで、私たち自身も看護を振り返り、新たな学びや気づきを得る機会となっています。

地域の看護を支える仲間が増えることは、地域医療の充実や、より質の高い看護のつながるものと考えています。今後も市立大学と関門医療センターが連携し、共に学び、共に成長しながら、地域医療を支える人材の育成に取り組んでまいります。


副看護部長
實森（さねもり）　直美（なおみ）



Dr.ちゃんねる

Q 出身地は？
宮崎県都城市です。宮崎市と鹿児島市の間あたりにあり、ふるさと納税で有名なお肉と焼酎の街です。大学から山口に住んでいます。

Q 今、行きたいところは？
水族館です。大きなシャチや、ジンベイザメが大好きです。名古屋港水族館や美ら海水族館にまた行きたいです。

Q おすすめの場所は？
屋久島です。最近行きましたが、天気に恵まれ、太鼓岩から素敵な景色が見れました。次は縄文杉まで頑張りたいです。

Q 今、夢中なものは？
お休みの日に、温泉旅館でまったりと過ごすことです。美味しいものを食べたり、散歩したり、読書したり、日常を忘れて、自分の時間を満喫しています。

Q ストレス解消法は？
家で、のんびり過ごすことです。
ベランダでハンモックに揺られながら日向ぼっこをしたり、マッサージチェアにのりながら、音楽を聴いたりしてリラックスしています。

Q 失敗談は？
関門医療センターに赴任して、近くの大好きな某中華店に1週間で4回行った結果、逆流性食道炎になりました。

Q 関門医療センターのここが好き
海がみえるところです。窓から、迫力のある船が見えるとテンションがあがります。
近くの海岸ではスナメリが見えるかもしれないとのことで、よく探しながら散歩しています。現在のところ、全く見える気配はありません。


屋久島の白谷雲水峡

診療科：麻酔科　飯尾（いいお）　知明（ともあき）